



編集・発行
四街道市男女共同参画
フォーラム実行委員会
令和7年3月発行

男女があらゆる分野に参画し、その個性が發揮できるまちづくりをめざして

四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会は男女共同参画意識の啓発を図る活動をしています。



男性の料理教室 おとう飯 「父子で手作りピザに挑戦！」

令和6年6月16日（日） 9:30～12:30

わろうべの里 食のスタジオ

講師：後藤友亮さん（市内イタリアンレストラン GOCHI シェフ）

参加者：父子6組（13人）



子どもから大人まで人気のあるピザに挑戦しました！

定員の8倍を超える大人気の講座となり、抽選で参加者を決めさせていただきました。



ピザの皮の材料をよく混ぜます。



ピザの皮を成形します。



ピザソースの玉ねぎを
刻みます。



トッピングをしてオーブンへ



<当日参加者の感想から>

○とても良かった。 ○とても美味しかった。 ○娘とこういう機会を持っててありがとうございました。
娘も今日を楽しみにしていた。 ○親子で料理をする機会を増やしていただきたい。 ふだんできない経験が子どもとできてとても貴重でした。 ○子どももとても生き生きと活動していました。 ○この企画が楽しみで何回か参加しました。 毎回楽しいです。

能登半島地震から学ぶ

～避難所の間仕切り・簡易ベッド・トイレの組立てなどの体験～

日時：令和6年9月7日（土）10時～12時

会場：わろうべの里 多目的ホール

能登半島へ災害支援のため、四街道市から現地に派遣された危機管理室長の成田幸三郎さんにお話を伺いました。

その後、避難所の間仕切り、簡易ベッド、テント、簡易トイレ作りなどの体験を行いました。また避難所生活では日頃からの健康作りも重要です。看護師の尾添美幸さんから腸活体操を教えていただきました。



-避難所作り体験-

間仕切り、簡易ベッドやテントの設営、簡易トイレ作りなどを体験しました。皆さん実際にベッドに寝てみたり、組み立てや後片付けなどを、興味深く実践しました。



-避難所運営の支援体験-

令和6年1月16日から20日まで成田室長を含む3名が石川県珠洲市に避難所運営支援として派遣され、避難所で炊き出し食品の供与や飲料水の供給などを行った体験をお話いただきました。

避難所運営は住民が主体となって運営していくものであり、障がい者、考え方が異なる人などいろいろな人が集まっています。避難所のひとつとして、安全な知人の家などもいいとのお話しもありました。

いざという時のために、誰もが防災意識を高め、防災訓練への積極的参加などが大事だとお話をされました。



-腸活体操-

災害に備えるからだ作りとして尾添美幸さんに腸活ストレッチを学びました。腸を元気にすることで自分の免疫を作り上げる毎日1分間体操を、参加者全員で行いました。

日頃からの健康作りがとても大事だということを実感しました。

※腸に良いたべものの例：発酵ヨーグルト、玄米、キムチ、食物繊維など



[参 加 者 の 感 想 か ら]

- ・初めてトイレ、ベッド、テント作りをし、イメージがわきおもしろかったです。
- ・水を3日分持つて行くと足りる、驚きました。子どもや家族へ伝えます。
- ・免疫 up 腸活勉強になりました。話も良かった。
- ・防災は明日からやろうではなく、今日やろう、イヤ今やろうと改めて肝に銘じた。
- ・男女共同参画からも災害支援のテーマで講座を持たれたことが意義があると思いました。
- ・能登の実情がテレビ放送とは違った面で紹介いただき参考になりました。
- ・協力してできたとは思いますですが、作業の時の意思疎通はなかなか難しいと感じました。
- ・被災した方々の生活についてもう少しくわしく知りたかった。



日時：令和7年1月19日（日）13:30～15:45

会場：わろうべの里 多目的ホール

講師：松尾圭さん（レインボー千葉の会顧問 らいふあっぷ習志野センター長）

今井出雲さん（市川市寄り添い支援事業・がじゅまるプラス+支援相談員）



性の多様性、LGBTQ+を知るための入門編としてDVD「あなたが あなたしく生きるために」を視聴し、お二人の講師よりお話を伺い、その後、グループでのフリートークを行いました。

＜講演の概要＞

多くの人は、戸籍上の性別で生きることに違和感を持たず、異性を恋愛対象とするが、それに違和感を持つ人もおり、性のあり方は多様。LGBTQ+当事者（以下「当事者」という。）は、左利きの人（10%）とほぼ同率といわれている。「身近な人に当事者がいるはず」という認識を持つことが重要。

当事者は、様々な困難を抱えて生きており、一般の人に比べて自殺者の割合が高い。子ども当事者の6割が自殺を考えたことあり（一般の小中高校生では1割）という調査結果もある。割り当てられた性への違和感がある中で、幼少期より男女どちらに属するのかを突き付けられるストレス、相手が何げなく

発した言動により日常的に「チクチク刺されるような痛み」を重ねることで自己肯定感が低下する。

本人の了解を得ずに公にしていない性自認や性的指向などの秘密を暴露すること（アウティング）は、当事者を自殺に追い込むことにもなりかねず、決してやってはいけない。

性自認や性的指向による障壁の除去を求められた際、必要かつ合理的な配慮を的確に行うことが求められている。

全ての人の人権が尊重され、誰もがその人らしく生きることのできる社会を目指したいものです。

＜グループでの話し合い＞



- LGBTQ の全体の説明と当事者の話が聞けて、さらによく理解できた。
- 生きにくさというものがよく分かった
- アウティングもカミングアウトももっと自由に普通に受け止められるようになればいい。
- 娘が大学の授業で LGBTQ+についての講義を受けており、性の多様性を自然に受け入れている。若いうちからの学習の機会が必要。



＜参加者の感想＞

- 身近な問題で、個々の意識の変革が大切。学校教育に導入していくのがよいか？
- 仕事先でこの問題に直面している子、保護者に出会った。以前テレビで、性の違和感を感じるタイミングが幼児期が多く、しかも自殺する子も多いと聞き、改めて自分が学ばなければと思っていたが、どう学べばよいのか迷っていた時にこの講座があったので参加できてよかったです。
- 性教育教師をしていますが、なかなか実施にいたらず苦労しています。今日のようなお話を多くの方に聞いていただきたいと思いました。出雲さんの改名のエピソードはとても素敵なお話でした。
- パートナーシップ制度の拡大、充実を期待します。



令和7年度実施予定事業

- 父子クッキング「手作りピザに挑戦！」第2弾
6月22日（日）午前～お昼予定
わろうべの里 食のスタジオ
講師：市内レストラン
GOCHI のシェフ
後藤友亮さん
- 8050問題を考える 9月6日（土）予定
- 映画上映＆フリートーク 「〇月〇日 区長になる女」 令和8年1月 予定

参考図書

○国立歴史民俗博物館監修
「性差の日本史」展示プロジェクト編
インターナショナル新書

新書版

性差の日本史

日本の歴史の中から、女性や男性の姿を浮かび上がらせ、男女を区分する社会がいつ、どのように生まれ、区分の中で人々がどのように生きてきたのか。

ジェンダーの視点から読み解くことで、初めてそれまでの常識とは異なる歴史像が語られる。



○冊子「みんなに知ってもらいたい性の多様性」
レインボー千葉の会



※一緒に活動する仲間をいつでも歓迎します。

問い合わせ先

四街道市地域共創部みんなで課

TEL : 043-420-7525

E-mail : yminnade@city.yotsukaido.chiba.jp

市内で活動する人・団体紹介

「りんごの樹(日替わり café りんごの樹)」

四街道市役所の近くの民家をお借りして、令和6年5月 日替わり cafe りんごの樹（旧日替わりシェフの店さくらそう）をオープンしました。ここでは日替わりシェフとしてはもちろん、いろいろな活動のレンタルスペースとして使うことができます。

りんごの樹は日替わりシェフとしてランチの提供、子ども食堂、子どもたちの居場所として「ヤバイ駄菓子屋」を開いています。たくさんの方たちが出入りし、みんなの居場所として使われています。また他の施設をお借りして、いろいろなものを次の人へ渡すおゆずり会も開催しています。

是非、SNS をご確認の上、りんごの樹の活動にいらしてみてください。

りんごの樹 担当：後藤 陽子

TEL: 090-4520-5804

編集後記

○性暴力の根絶を求めるフラワーデモが全国で行われ、刑法やDV防止法の改正は、多くの被害当事者、支援者が声をあげ実ったものです。引き続き声をあげよう。(A)

○「あきらめてならぬものをあきらめて、あきらめてよいものをあきらめず……」いまの私の心境です。」(F)

○トランプ政権によるDEI (Diversity, Equity, Inclusion) に基づくプログラム廃止の指示。注目すべきだと思います。(H)

○タイでは、同性婚を認める法が、本年1月23日、施行された。東南アジアでは初。多様性が尊重される社会の実現を目指したい。(K)

○アウティングもカミングアウトも特別な事ではない大らかな社会は 子どもから大人にとっても生きやすい社会ではないかと思う。(S)